

8月22日現在

「中央アジア+日本」対話 第10回東京対話 プログラム

テーマ：日・中央アジア関係の今と未来を展望する

日時：平成29年8月31(木) 午前10時～
場所：東京(外務省国際会議室北760号室 定員150名(一般募集120名))
共催：グローバルフォーラム、外務省
言語：日本語・ロシア語(同時通訳)

10:00-10:20	オープニング・セッション
●開会 司会進行：田口精一郎(外務省欧州局中央アジア・コーカサス室長) ●挨拶 伊藤憲一(グローバル・フォーラム代表世話人) ●主催者基調スピーチ 堀井学(外務大臣政務官)	
10:20-13:10	メイン・セッション
●ゲストスピーカーによるプレゼンテーション 10:20-10:35 <日・中央アジア外交関係樹立25周年記念スピーチ> ・川口順子(明治大学国際総合研究所フェロー/元外務大臣) 10:35-11:05 <中央アジアと東アジア2000年の歴史> ・フレデリック・スター(アメリカ外交政策評議会中央アジア・コーカサス研究所所長) ：英語→日本語の逐次通訳(ロシア語には、日本語通訳時に同時通訳) ●中央アジア側参加者による報告及びパネルディスカッション 11:10-11:35 <中央アジア側によるプレゼンテーション> (各国5分程度の発表) ・グロムジョン・ボボゾダ(タジキスタン：大統領府国際局長) ・サヤサット・ヌルベック(カザフスタン：アスタナ国際金融センター・マネージングディレクター) ・アザマト・ディカムバエフ(キルギス：国立戦略調査研究所所長) ・グルバンムハメット・カシモフ(トルクメニスタン：外務省特任大使) ・ムザファール・マドラヒーモフ(ウズベキスタン：外務省アジア太平洋局日本課長) 11:35-12:25 <今後の日本と中央アジアの関係を語るパネルディスカッション> モデレーター：宇山智彦(北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター教授) パネリスト：中央アジア側5名(タジキスタン、カザフスタン、キルギス、トルクメニスタン、ウズベキスタン) 日本側3名(宮家邦彦(キヤノングローバル戦略研究所研究主幹)、古宮健一郎(澤田ホールディングス(株)取締役)、本間勝(欧州復興開発銀行(EBRD)東京駐在員事務所長)) 12:25-12:55 コメント、質疑・応答 ●総括 ・12:55-13:05 相木俊宏(外務省中央アジア担当特別代表(大使)) ●閉会 田口精一郎(外務省欧州局中央アジア・コーカサス室長)	
13:15-14:45	レセプション (於：外務省新庁舎7階 ニコラスハウス)